



赤い羽根  
福祉基金



## 居場所のない若年妊婦のための ワンストップ型支援事業

「にんしん」をきっかけに  
誰もが孤立することなく  
自由に幸せに生きていける社会の実現を目指して

認定NPO法人 ピッコラーレ  
代表理事 助産師 中島かおり



# midwife 女性のとなりに

中島かおり (助産師・保健師・看護師)

2019年 健やか親子21 (第2次) の中間評価等に関する検討会構成員 (厚労省)

2020年 性暴力に関するSNS相談支援促進調査研究事業検討会委員 (内閣府)

2021, 2022年 こども政策の推進に係る有識者会議臨時構成員 (内閣府)

2023年 こども家庭審議会社会的養育・家庭支援部会 委員 (こども家庭庁)

## ピッコラーレ団体概要

2015年 9月 助産師6名、社会福祉士1名で任意団体発足

2015年12月 ボランティアによる妊娠葛藤相談窓口「にんしんSOS東京」を開始

2016年 3月 一般社団法人にんしんSOS東京を設立

2018年 にんしんSOS埼玉を埼玉県より受託・にんしんSOSちばを千葉県より受託

2018年11月 事業の広がりに対応するため、特定非営利活動法人ピッコラーレ設立

2019年 4月 全事業を一般社団法人にんしんSOS東京から移管)

2020年 7月 他団体との協働により、居所のない妊婦のための居場所「ぴさら」を開所

2021年 1月 妊娠葛藤白書 にんしんSOS東京の現場から 出版

2022年 12月 認定NPO法人へ

メンバーは東京・埼玉・千葉・神奈川・静岡・栃木・長野・アメリカ在住  
起業時の7名から現在51名へ (助産師・看護師・社会福祉士・公認心理師他)





「にんしん」をきっかけに 誰もが孤立することなく  
自由に幸せに生きていける社会の実現を目指して



「にんしん」にまつわる全ての「困った」「どうしよう」に寄り添う

### ピッコラーレが取り組む4つの事業

妊娠葛藤相談窓口寄せられる声を聞くことによって見えてきた課題解決へ向けて、相談支援事業のほか3つの事業を展開。



#### 1 相談支援事業

##### 4つの妊娠葛藤相談窓口を運営

にんしんSOS東京 2015年12月より 自主事業として開設	PUPU(プープ) 2020年2月より 中絶後相談窓口	にんしんSOS埼玉 2018年7月 埼玉県より受託	にんしんSOSちば 2019年1月 千葉県より受託

電話	365日 開設
16-23時	
メール	
24時間	
Twitter	
にんしんSOS東京のみ	
週3日/2時間	



赤い羽根  
福祉基金

#### 2 居場所事業

居所なし若年妊婦等への  
安心・安全な居場所づくり事業  
包括的性教育の普及

#### 3

#### 研修・啓発

妊娠葛藤相談窓口の普及  
妊娠葛藤相談支援員のスキルアップ

#### 4

#### 調査研究・政策提言

妊娠葛藤を社会課題として  
可視化するために、  
白書作成・政策提言・要望書の提出など



「にんしん」に関する考えや経験はひとりひとり違う

相手があることなので思い通りにならないという側面がある

身体や心、そして人間関係や周りの環境も変化し

それらの変化への対応が必要になる

その変化に対応できるだけの資源をその人自身が持っているかどうかで

「にんしん」が大きな困りごとになる



生後まもない赤ちゃんの遺体を土の中に埋めて遺棄した疑い  
18歳の男女を逮捕 茨城・北茨城市



TBS TBSテレビ

2023年11月23日(木) 23:19

NHK

新型コロナ ニュース 受信料の窓口

関西 NEWS WEB

メニュー

## 大阪 生後まもない赤ちゃん遺棄 事件 母親を死体遺棄罪で起訴

07月19日 18時06分



先月（6月）、大阪・中央区の駐車場で生後まもない赤ちゃんの遺体がみつかった事件で、28歳の母親が死体遺棄の罪で起訴されました。

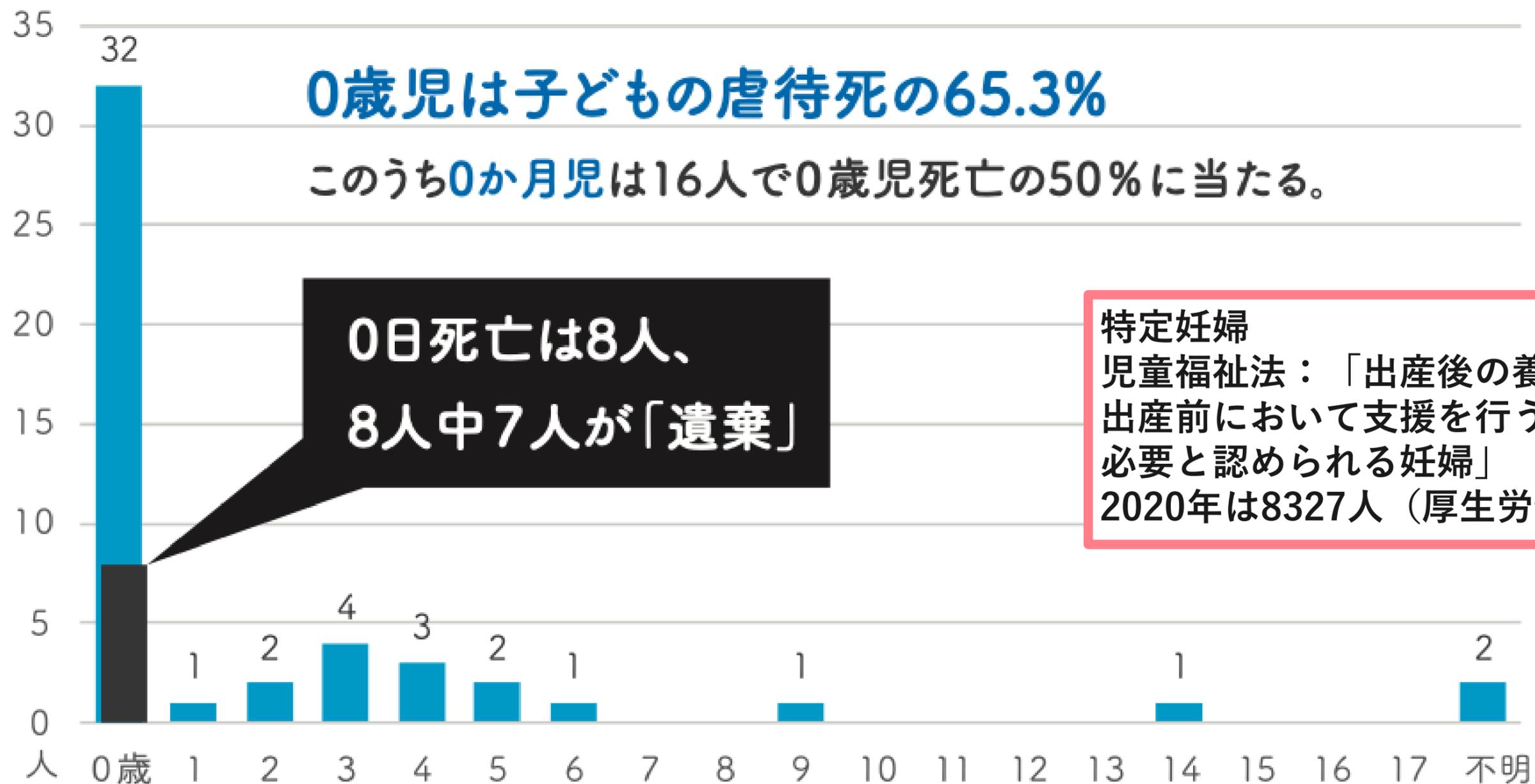
捜査関係者によりますと、「ホテルで赤ちゃんを出産した。遺体を袋に詰めて、ホテルを転々としていた」などと話しているというこ

## 畑に乳児遺体、10代少女を死体遺棄容疑で逮捕…「赤ちゃん埋めたことに間違いはない」

2022/07/02 09:25

1日午後0時50分頃、神奈川県秦野市の畑で、土の中にあつた袋から乳児の遺体が見つかった。県警は2日、同市の10歳代少女を死体遺棄の疑いで緊急逮捕した。調べに対し、「赤ちゃんを埋めたことに間違いありません」と容疑を認めているという。

# 子どもの虐待死でいちばん多いのは0歳児



子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について  
(社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会 第18次報告より)

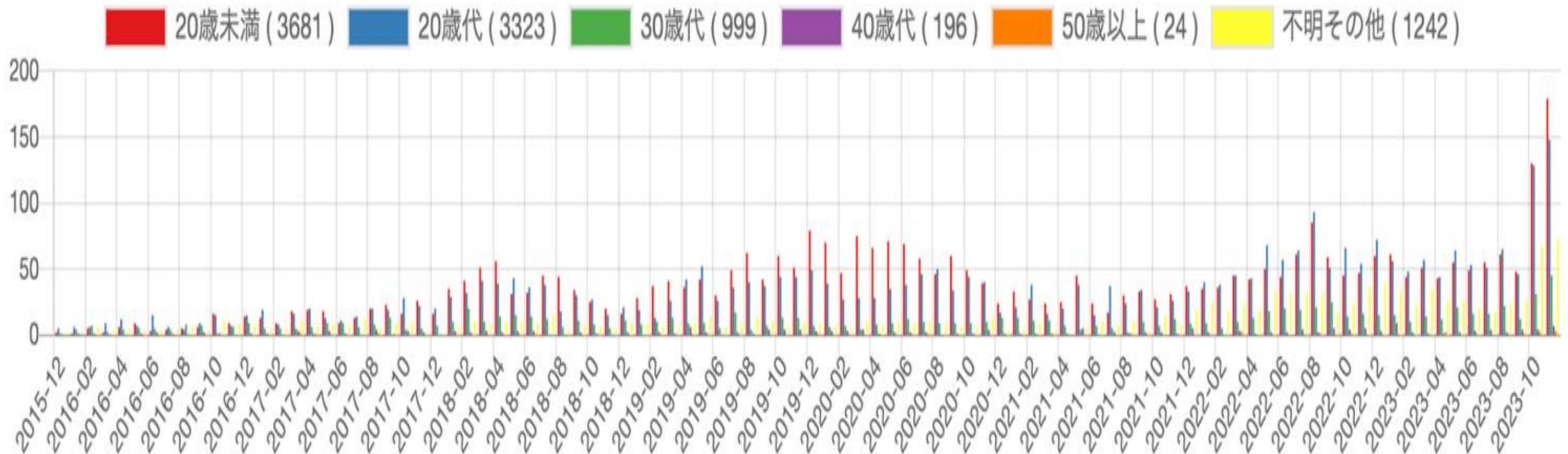
# 妊娠に悩む時期からの支援 妊娠葛藤相談窓口



にんしんにまつわる全ての  
「困った」、「どうしよう」  
に寄り添います

# 8年間で、**全国9,465人**の方々から相談が寄せられ 延べ**5万1294件**の相談のやり取りを行なってきました

カルテ件数 [合計 9465]





居場所

HOMEを持たない、漂流妊婦に安心と休息と希望を届けたい。

それが、project HOMEのミッション

ミッション1

居場所をもたない彼女たちに  
安心して安全に休むことのできる  
場所と時間を提供します。

ミッション2

彼女たちが抱えている困難を  
一つ一つ手放すことができるように  
一緒に考え支えます。

ミッション3

彼女たちが、  
社会と安全につながるできるように  
社会に希望が持てるように、  
いくつものつながり先を確保します。

ミッション4

彼女たちの存在を  
社会に伝え続ける発信地となります。



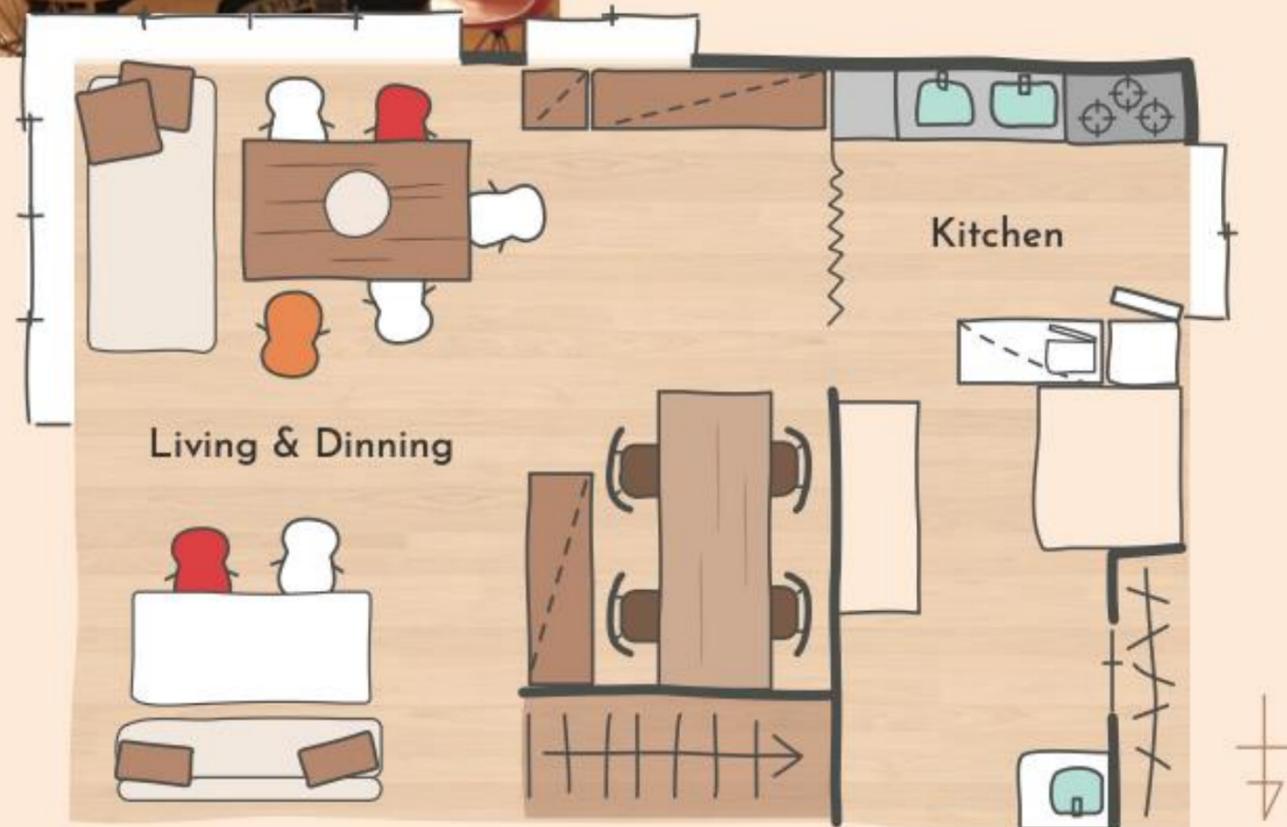


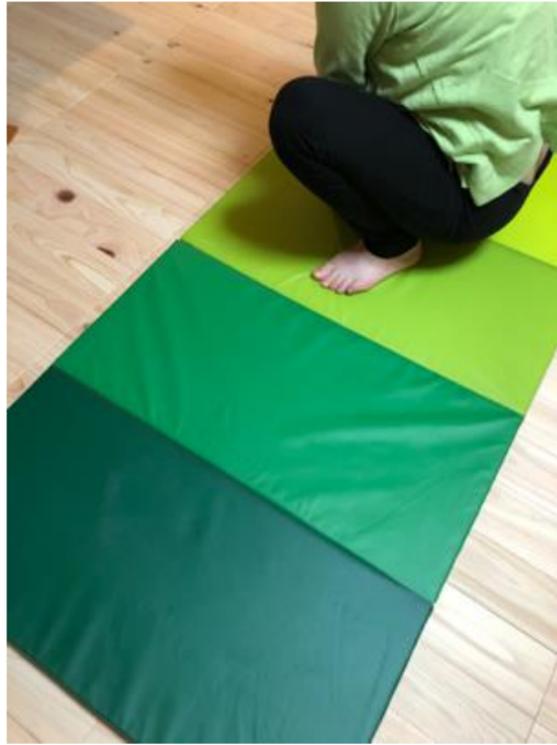
HOMEのない妊婦のための  
**project HOME**

HOME  
第1号



天然ヒノキのユカハリ・タイルを敷きつめたりリビングルームは、ほんのり木の香りがします。南東には広い出窓があって、光も風もよく通るオープンで温かみを感じる空間です。ここでおしゃべりしたり、音楽を聴いたり、ただただゴロゴロ過ごしたり。「お家」のリビングのように、いろんな人が出入りして、ゆるやかに繋がる場です。







(2020年6月～23年3月)

【宿泊利用】

2020年度	妊産婦7名, 新生児・幼児4名, 158泊
2021年度	妊産婦8名, 新生児・幼児5名, 414泊
2022年度	妊産婦8名, 新生児・幼児6名, 481泊

【デイ利用】

2020年度	6名	19日
2021年度	21名	47日
2022年度	15名	69日



若年妊婦のための居場所ぴさらー3年間のあゆみー発行





赤い羽根  
福祉基金

# 居場所のない若年妊婦のためのワンストップ支援

- ①拠点運営の充実（「ぴさら」公的な資金のもと運営）
- ②豊島区における連携体制づくり（地域の妊産婦・母子を対象とした新たな拠点の展開）
- ③全国の仲間とのネットワークづくり



各地で取組む仲間と手を携えながら若年妊婦にとってのHOMEが日本中に生まれるための仕組みと文化をつくる

豊島区行政・民間支援団体等  
交流会実施

30回

3団体→8団体 共同勉強会実施

7回



# 厚生労働省社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会

## 厚労省の子ども家庭局、子ども家庭庁準備室のヒアリングを経て R6年 改正児童福祉法の中で制度へ

### 取組の概要

- **社会や家族と繋がりのない孤立した若年妊婦への居場所支援**
  - ・ 社会や家族と繋がりが持てず孤立した若年妊婦のSOSを受け止める受け皿が圧倒的に不足している中、通いだけでなく、宿泊も可能な居場所を運営し、妊娠・出産やその後の生活について、落ち着いて考えることが出来るよう寄り添い型の相談支援や生活の支援を実施。
  - ・ また、医療機関等への同行支援や、関係機関への繋ぎなどの支援を実施。
  - ・ その他、相談窓口でつながった妊婦の中で、食料・その他衣食住を支える生活支援が必要な方への物品の支援を実施。

### 利用者負担

- ・ 利用者負担無し

### 取組実績

- ・ 宿泊（2部屋）による支援（令和3年度）
  - 利用実人数：14名（うち新生児4名、幼児1名、パートナー1名含む）
  - 宿泊延日数：578日
  - 主な支援内容：生活支援、医療機関・行政窓口への同行支援、妊娠中・産後の身体と心のケア
- ・ 通所による支援（令和3年度）
  - 利用延日数：89名
  - 主な支援内容：妊娠・出産・育児他、学習・就労等の相談支援、レスパイト支援、乳房ケア・骨盤ケア、お宮参り/お祝い初めの実施、発育発達チェック等

### 支援の様子



居場所（リビング）の様子  
宿泊利用の居室スペース  
デイ利用 お宮参り&100日お祝い

### 取組の概要

- **妊娠、出産、子育て、生活、自立まで切れ目のない総合的な支援を実施**
  - ・ 24時間365日の専用相談窓口を設置し、妊娠・出産等に関する悩みについて、相談者に寄り添い一緒に考える取組を実施。
  - ・ 医療機関等への同行支援を行うとともに、住まいのない妊産婦等に対しては、安心安全な居場所を提供し、入院の準備を含めて日常生活のサポートを実施。
  - ・ 出産後は、母子の将来の生活設計を一緒に考え、住まいや保育所探しの支援や、乳幼児健診等への同行支援を実施。必要に応じて母子生活支援施設への入所へつなぐ。また、地域企業と協働し、受講希望者には「就労教育訓練プログラム」を、無料で受講できる。

### 利用者負担

- ・ 利用者負担原則無し（食費等の実費負担あり）

### 取組実績

- ・ 相談件数（令和3年度） 相談件数430件（延べ対応件数3,608件）
- ・ 宿泊以外の支援（訪問支援等）
  - 支援実人数：10名（利用延べ日数：100日）
  - 主な支援内容：訪問相談、医療機関同行、物品提供、他機関紹介
- ・ 宿泊による支援（令和3年度）
  - 利用実人数：9名
  - 利用延日数：444日
  - 主な支援内容：生活支援、産後ケア、養育相談、カウンセリング etc.

### 支援の様子（ベビーモデルを使った沐浴指導）



## 新規 妊産婦等生活援助事業

＜児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金＞ 令和6年度概算要求額 208 億円の内訳  
(-) ※ ( ) 内は前年度当初予算額

### 1. 施策の目的

家庭生活に困難を抱える特定妊婦や出産後の母子等に対する支援の強化を図るため、一時的な住まいや食事の提供、その後の養育等に係る情報提供や、医療機関等の関係機関との連携を行う。

### 2. 施策の内容

家庭生活に困難を抱える特定妊婦や出産後の母と子等を支援するため、下記の業務を行う。

- 利用者の状況に応じた支援計画の策定
  - 妊娠葛藤相談やこどもの養育相談、自立に向けた相談等の相談支援
  - 入居または通いによる居場所や食事の提供等の生活支援
  - 児童相談所や市町村（子ども家庭センター含む）、児童福祉施設、医療機関等の関係機関との連携
  - 医療機関受診、就労支援機関の利用、行政手続き等の同行支援
- ⇒ 現行の産前・産後母子支援事業は、本事業創設に伴い廃止する。



### 3. 実施主体等

【実施主体】 都道府県、指定都市、中核市、児童相談所設置市  
(※) 対象施設が母子生活支援施設である場合は、都道府県、指定都市、中核市、児童相談所設置市、市及び福祉事務所設置町村

#### 【補助基準額】

ア 基本分	1か所当たり 29,851千円	イ 入居機能加算	
・ 支援コーディネーター 1人		・ 宿直手当加算	1か所当たり 1,606千円
・ 看護師、助産師 1人		・ 居室稼働加算	
・ 母子支援員 1人		居室稼働450人日～900人日の場合	1か所当たり 6,166千円
・ 個別ケース会議開催経費		居室稼働901人日以上の場合	1か所当たり 12,200千円
・ 医療機関連携費用		・ 居室確保加算	1か所当たり 10,000千円
・ 生活支援費		ウ 休日相談対応体制加算	1か所当たり 1,300千円
・ デイケア対応費		エ 心理療法連携支援加算	1か所当たり 887千円
		オ 法律相談連携支援加算	1か所当たり 887千円

#### 【補助割合】

国：1/2、都道府県・指定都市・中核市・児童相談所設置市：1/2  
国：1/2、都道府県：1/4、市・福祉事務所設置町村：1/4

SDGs目標：3. すべての人に健康と福祉を  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

該当するターゲット：

3.7 2030年までに、**家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人が利用できるようにする**

3.8 **全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する**

\* UHC とは・・・

「すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる」ことを意味し、すべての人が経済的な困難を伴うことなく保健医療サービスを楽しむことを目指しています

ピッコラーレは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

## さまざまな方と協力しながら

### 若年妊婦を支える仕組みと文化を一緒につくる

2万円あれば…

緊急入院時のお産セット  
(衣類、衛生材料、新生児の服など) を  
1人サポートできます

10万円あれば…

臨月直前の妊婦の  
緊急受診費用を  
1人サポートできます

100万円あれば…

妊娠に悩む方の  
相談や同行支援を  
100人サポートできます

300万円あれば…

産前産後の母親と生まれたばかりの赤ちゃんの生活を  
1組サポートできます

そのほかにも、以下の形でご協力くださる企業も

物品の寄付

生理用品、居場所での生活用品・・・

イベント会場の提供

広報・プレゼン資料の準備サポート

ランチMTGなどでの活動紹介の機会

講演・研修のご依頼

法人内基金・助成金の寄付

協働プログラムの実施

# 12/22（金）まで、活動費を集める クラウドファンディングにチャレンジ中！

寄付金控除型 #関東 #東京都 #社会にいいこと #まちづくり #医療・福祉 #人権 #貧困 #寄付金控除型

## 「誰にも頼れない」妊娠をなくしたい。相談から途切れない支援を一緒に

 NPO法人ピッコラーレ



目標金額を達成した場合のみ、実行者は集まった寄付金を受け取ることができます(All-or-Nothing方式)。寄付募集は12月22日（金）午後11:00までです。

寄付総額  
**3,530,000円** 目標金額 10,000,000円

35%

寄付者 残り  
**207人 18日**

応援コメント

-  はまだ 315  
応援しています！
-  MEK 385  
応援しています。
-  乗口雅充 19時間前  
頑張ってる貴団のメンバー応援します。

プロジェクトの寄付にすすむ

  
15

30万円～

ぴさらご招待  
感謝状の贈呈  
企業ロゴのウェブ掲載

認定NPO法人への  
法人寄付は、  
損金算入の対象  
になります



「ここにいていいのだ」「生きていていいのだ」と思えること

いつでももどってこることができる場があること



大切なのはいつか自分のHOMEを見つけられること